

(社) 日本原子力学会
第99回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 29 年 9 月 6 日 (水) 13:30~17:00
場 所 日本原子力研究開発機構 東京事務所 26 階 第 2 会議室
出席者 大場委員長、三村副委員長、宇奈手幹事、金山委員、神谷委員、出町委員、
中野委員、中村委員、原田委員、福家委員 (10 名 : 委員名簿順)
布目特別委員、榎田特別委員、北村氏 (オブザーバー)

配布資料

- 資料99-1 : 第98回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料99-2 : 2017年秋の大会企画セッション関連資料
- 資料99-3 : 再稼働に係る審査、承認の事例集に関する文書
- 資料99-4 : 倫理規程見直しに関する資料
- 資料99-5 : 日本学術振興会 未来の原子力 第2回定例委員会関連資料
- 資料99-6 : 特別委員名簿(訂正版)
- 資料99-7 : 年会/大会・研究会の長期計画
- 資料99-8 : 電気学会 第10回技術者倫理研修会に関する資料

議事

1. 資料 99-1 により、前回議事要旨 (案) が了承された。
2. 資料 99-2 により、2017 年秋の大会企画セッションの準備状況を確認した。
 - ・講演後のディスカッションでは、北海道電力殿独自のモチベーションアップ活動などを上手く引き出すよう運営していく。
3. 資料 99-3 により、再稼働に係る調査、承認の事例集に関する当委員会の見解書案について議論を行った。内容については概ね委員の了解を得たが、下記議論を踏まえ最終化していく。
 - ・倫理規程との相関を、より明確にするために該当する規程を末尾に添付する。
 - ・本意見表明書の趣旨を理解してもらうために委員会の取組みに関する説明文章が必要。
 - ・論旨を分かり易くするために段落単位での順番を見直す。
 - ・内容は一般化されており発端となった事象が分かり難くなっているが、現時点のみならず将来にも使えるメッセージとするために表現は今のままとする。但し、文末は「不断の見直し」を求めるものとする。
 - ・修正後、学会長への説明を経て学会誌への掲載を目指す。
4. 資料 99-4 により、倫理規程見直しの状況を確認した。現在は当委員会 HP に公衆審査の位置付けで掲載しており、学会誌 10 月号でも掲載予定。なお、コメント締め切りは 10 月 31 日に設定。
5. 資料99-5により、日本学術振興会 未来の原子力 第2回定例委員会の情報を共有した。当委員会は分科会2への参画が求められているが、今後の当委員会からの係わり方については継続的に検討していくものとした。
6. 資料 99-6 により、今年度の特別委員の訂正内容が確認された。

7. 資料 99-7 により、企画セッションおよび倫理研究会の委員役割案(中期計画)が提案され、出席者により了承された。
 - ・企画セッション・研究会共に各担当委員が計画的に案を作成し、委員会にて議論を深めながら準備を進めていくこととした。
 - ・2年毎の倫理規程見直しをひとつのサイクルと考えて大きなテーマを持って取り組むとし、その間の企画セッションや研究会は、そのテーマの構成要素を議論するような建付けをしていくべきとの意見も出された。
 - ・次回委員会が11月とすると、2018年春の年会の企画セッション登録締め切りの間際である。本年秋の大会の担当の反省としては、企画についての十分な検討ができなかったことが挙げられる。
 - ・次の春の年会では、研究機関の安全文化や倫理について取り上げて議論を深めることが案として挙げられ、時宜を得たテーマとなるのではないか。
8. 資料 99-8(電気学会 第10回技術者倫理研修会に関する資料)については次回委員会にて扱うこととした。
9. 次回の倫理委員会は第100回となるので、特別に集中的な議論ができるような運営を検討する。なお、日程はH29年11月10日～11日(時間、場所未定)の2日間で検討を進める。

以上